

日越大学は、日本とベトナムの両政府により両国の友好と結束の象徴として設立され、2016年9月にベトナムのハノイで開校しました。現在、修士課程8専攻プログラム（地域研究[MAS]、企業管理[MBA]、気候変動・開発[MCCD]、環境工学[MEE]、グローバル・リーダーシップ[MGL]、社会基盤[MIE]、ナノテクノロジー[MNT]、公共政策[MPP]）を開講しています。2015年4月から5年にわたり実施された JICA 技術協力「日越大学修士課程設立プロジェクト」（TC1）に引き続き、本年4月からは同「日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト」（TC2）が開始されています。

また、本年から新しく学士課程を開講し、58名の新入生を迎え今月より日本学プログラムが開講しました。日越大学においてもコロナ禍で遠隔講義や本邦インターンシップの延期を余儀なくされるなど大きな影響を受けていますが、これまでと同様に皆様からの温かいご支援・ご協力を賜れば幸いです。

Top News

菅首相が日越大学の学生と懇談（10月19日）



菅首相、山田大使、古田学長と学生との記念写真

2020年10月19日（月）午後、就任後初めての外国訪問でベトナムに来訪された菅義偉首相が日越大学を訪問されました。日越大学では地域政策に関するスピーチを行った後、学生との懇談会に臨まれました。懇談会には日越大学7名と外国語大学3名の計10名が参加し、終始和やかな雰囲気の中、日本語で行われました。

グエン・ニュー・ナム・アインさん（Mr. Nguyen Nhu Nam Anh：日越大学修士課程 MBA プログラム）からの「菅首相が日課にしていることはありますか」という質問に、首相は「毎日5時に起床し11時に就寝するように心がけています。朝晩100回ずつの腕立て伏せと40分の散歩を日課としています」と気さくに応じられました。

首相からの「皆さんは日本へ行ってみたいですか」との問いに「もう一度、日本に行きたいです」と答えたヴ・ホン・ガンさん (Ms. Vu Hong Ngan 日越大学修士課程地域研究プログラム日本研究) は、集合写真の撮影で菅首相と隣りになり、首相から「日本の都会と地方のどちらに行きたいですか」と小声で訊かれたことについて、「地方に行きたいと答えました。とても緊張しましたが、首相は温かい雰囲気でおしよさを感じました」と振り返りました。

懇談会には、今月から開講したばかりの学部1期生のチャン・タオ・グエンさん (Ms. Tran Thao Nguyen) も参加しており、「新入生のオリエンテーションで菅首相の訪問を知ったばかりで、まさか自分が懇談会に参加できるとは思わなかった」と感動した様子でした。

最後に菅首相は「皆さんが卒業後に日本とベトナムの架け橋として活躍することを期待します」と述べ、学生たちを力強く激励されました。



菅首相の訪問を歓迎する日越大学の学生



菅首相に質問するグエン・ニュー・ナム・アインさん (写真左側)

新型コロナウイルス (COVID19) 感染症対応について：

日越大学では手指消毒スポットの設置、教室の入室人数の制限、オンラインでの講義の実施などの対策をとっています。新型コロナウイルス感染者と濃厚接触があった者、濃厚接触者と接触した者はその段階に応じ隔離されます。両国の往来が停止されており、日本から教員が渡越できない状況が続いていますが、日越大学ではこれまでに培った経験を活かし、オンライン講義を実施しています。

本年の修士課程における本邦インターンシッププログラムについては、ベトナム国内での実施を基本とし、本邦での実施については今後の状況を見ながら検討することとしています。

